

デジタルアーカイブの 裾野を広げるために

デジタル知識流通基盤の
エコシステム確立に向けて

永崎研宣

一般財団法人人文情報学研究所主席研究員

東京大学大学院人文社会系研究科

人文情報学拠点客員研究員

国際日本文化研究センター客員准教授

林立するデジタルアーカイブ

- 各地でデジタルアーカイブが構築されている
 - 様々な文脈に基づく予算
 - 個々のサイトごとに関連するコンテンツが分散していてそれぞれ使い方も異なる
 - ⇒ 予算の文脈からは正しいが結果として利便性が不足
- メタデータの共有と相互運用
 - 探しやすいさの向上
 - ヨーロピアーナ・DPLAの取組
 - NDLサーチ・Japanサーチ(仮称)
- 次のステップとしての高精細画像の相互運用
 - 各機関と連携しつつヨーロピアーナ・DPLAも推進中

より便利かつ高度な利活用に向けた国際的な取り組み

- IIF(トリプル・アイ・エフ)



- <http://iiif.io/>

- デジタル画像を効果的に相互運用するための国際的な枠組み

- サイトの垣根を越えて画像を扱えるように
- ⇒様々な意味で裾野を広げる可能性

- 英国図書館、フランス国立図書館、ハーバード大学、スタンフォード大学、イエール大学、オックスフォード大学等が主導。世界で約600機関が採用。

- 日本でも東京大学、京都大学、慶応大学、国文学研究資料館等が採用。国立国会図書館も採用予定。

- 参考情報: IIFに関する日本語情報の私的なまとめ

- <http://digitalnagasaki.hatenablog.com/iiif>

地震史料の文字起こしプロジェクト

- 「みんなで翻刻」
 - Webでのクラウドソーシング文字起こし
- 周到な準備
 - 「くずし字学習アプリKULA」
 - 8.5万件のダウンロード
 - 地震研究者と国文学研究者との協働
 - 優秀な個人開発者
 - プロジェクト内でのコンセンサス
 - 完璧でなくてもテキストを公開することに意義がある
- 成果として
 - 古文書・古典籍の翻刻(文字起こし)が10ヶ月間ですでに266点・310万文字行われた。
- **参加型環境**の整備により「裾野」を大きく広げた。

参加型環境の構築が容易に

- IIIF対応で公開された画像の活用手法として
- IIIF Curation Viewer
 - 人文学オープンデータ共同利用センター開発
 - 各地のIIIF対応画像を活用した**容易なキュレーション**
- Omeka IIIF Toolkit with Mirador and Neatline
 - トロント大学、ヴァージニア大学、ジョージ・メイソン大学、スタンフォード大学等により開発
 - みんなで各地のIIIF対応画像に**コメント**をつけたり**地図・年表上にマッピング**したり**Web展示**を作成したりできる。翻刻も可能
- ⇒オープンソースソフトで参加型環境の構築

IIIF Curation Viewer: キュレーション一覧

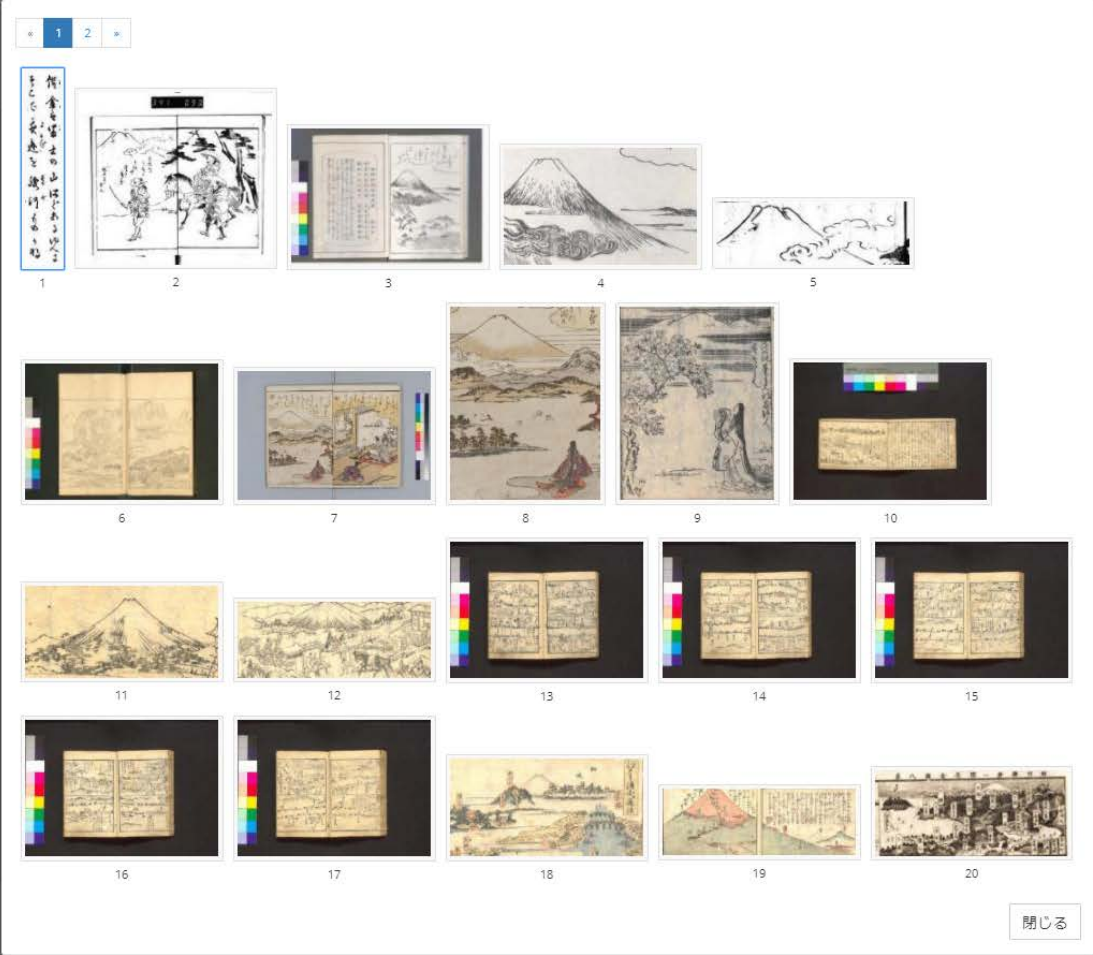
← → ↻ codh.rois.ac.jp/iiif/iiif-curation-viewer/index.html?curation=/pmjt/curation/1/json/fuji.json

日本古典籍ビューア / Pre-modern Japanese Text Viewer

東海道中膝栗毛 (Design of Mt.Fuji)

◀前 ヒックアップ 1 / 23 次▶ ヒックアップサムネイル一覧

+
-
🖼️



1 2

3 4 5

6 7 8 9 10

11 12 13 14 15

16 17 18 19 20

閉じる

『日本古典籍キュレーション』(CODH編集) 『日本古典籍データセット』(国文研所蔵)を利用

IIIF Curation Viewer: 該当箇所拡大・強調

codh.rois.ac.jp/iiif/iiif-curation-viewer/index.html?curation=/pmjt/curation/1/json/fujij.json&pos=8

日本古典籍ビューア / Pre-modern Japanese Text Viewer 日本語 / English

絵本松の調 (Design of Mt.Fuji)

◀前 [ピックアップ 8 / 23](#) 次▶ [ピックアップサムネイル一覧](#)

◀ 資料 5 / 11 ▶ 10 / 17 ☆ 目 下 上 左 右

Leaflet | 日本古典籍データセット (国文研所蔵) CODH提供

Center for Open Data in the Humanities, Research Organization of Information and Systems. Powered by IIIF Curation Viewer.

Omeka IIIF Toolkit with Mirador and Neatline : 地図年表マッピング

The screenshot displays a web browser interface with a map of a region in Japan. The browser's address bar shows the URL: digital.culturalresources.jp/iiifomeka/neatline/fullscreen/ndl-libcafe#records/6. The map features several annotations marked with colored dots and a red rectangle. A legend at the bottom of the map lists the following annotations:

- Annotation: "湯田温泉 温泉湧出地域図"
- Annotation: "龍蔵寺"
- Annotation: "瑠璃光寺"
- Annotation: "高田園 (高田公園)"
- Annotation: "山口駅"

On the left side of the map, there is a preview window titled "IIIF Preview" showing a document page. The document page has the following text:

Annotation: "湯田温泉 温泉湧出地域図"

IIIF Preview

p. 13 | Annotation: "...

湯田温泉 温泉湧出地域図

地図

その後の後の大木の下の小さい池があつた。成時足はいたしてある。

湯田は舊此四十五度から八十度くらんで、浸みたる湯は冷んで著しく、その上別に建つた泉も無く、まことに寂びた。昔はこゝのあた、かい崎を湯にひたつた。あると湯かき湯の湯が湧いて来た。...

1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940

Omeka IIIF Toolkit with Mirador and Neatline : Web展示

digital.culturalresources.jp/omeka-yang/exhibits/show/karaito/karaito_08

第八節 SEC. 8

あらすじ・STORY

万寿は、五郎丸を信濃へ帰らせ、さっそく奉公する仕女の役目を得た。幼い万寿は、親のことを聞かれて言わず、持ち前の聡明さで周りに溶け込んだ。落ち込んだときには更科に励まされ、その中で、奇跡的に唐糸を閉じる石の牢の所在を知った。

Manju had Goromaru return to Shinano, and immediately fund a position as a lady servant. Although being such young, Manju avoid to answer a question about her parents, and got well with the new environment. Manju was encouraged by Sarashina while loosing her hope, and eventually in a miraculous manner learned where her mother was restrained.



母親の所在が分からずに焦る万寿のまえに、思わぬ救いが現れた。どこからともなくこつ然と一人のみづし（料理などに携わる使用人）が現われ、唐糸が閉じ込められているところを指差しながら秘密を教えてくれた。ここに、万寿主従はいまだ旅姿のままなのだ。一方では、釘の門という、名前通りなら釘によって閉ざされているはずのところは、まるで万寿を迎え入れるように扉が大きく開かれている。

「裾野」を広げるために

- IIIF対応でコンテンツを公開することにより、世界中のデジタルアーカイブコンテンツと同列に活用されることができる。
 - 利用者から見ると、世界中のコンテンツを横断して同じ操作で利活用できる。
- IIIF対応コンテンツを対象とした**参加型デジタルアーカイブ作成環境**を構築するためのソフトウェアがオープンソースで世界各地で開発・公開されつつある。
 - ⇒「公開されたコンテンツを別のソフトウェアで別のサイトから活用する**二次利用デジタルアーカイブ**」の可能性